



長崎市立三原小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」



MIHARA TIMES

令和3年6月11日発行

文責 校長 宮原 友彦

先日、お知らせした三原団地自治会の中西賢一会長から教えていただいた放課後に黄色門から帰る子どもの中に、扇堂前の横断歩道を通らずに、道路を走って飛び出して渡っている子どもがいて、何度注意しても止めないから危ないというお知らせですが、地図が間違っておりました。正しくは右の地図のとおりになります。黄色門を出たすぐのところですよ。訂正させていただくと同時に、お詫びいたします。すみません。地図が苦手なもので…く(_)>



交通量が多く、朝立哨した際に観察していると、大抵の方はこちらの目礼に合わせて目礼を返していただいたり、早めに減速・停止していただいたりするのですが、中には猛スピードで通り過ぎたり、大型のトラックなどが通ったりすることもあり、大変危険です。どんなに急いでもきちんと横断歩道を渡り、『ひょっとしたら止まらないかもしれない。』と心の構えをしっかりともらった**防衛歩行**ができる三原っ子になるよう、指導していきたいと思えます。御家庭でも、子どもさんと一緒に考える機会をもってくださいようお願いします。

三原に吹く風

みなさん、「GIGA スクール構想」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。GIGA は、Global and Innovation Gateway for All の略です。昨年度末、子ども1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが一体的に整備され、本年度から本格的に導入されています。

- 目的は、① 特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現すること。
- ② これまでの日本の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すこと。

簡単に言うと、今までに蓄積された教育実践とICTを活用することによって、「学習活動のより一層の充実を図り」、主体的に学習に取り組む子どもを増やし、より深い学びになるよう授業の改善を図ろうということです。

早速、三原小でもローマ字に慣れている4～6年生は文字入力も可能なので、各教科で調べ学習や意見の交換、アンケートや小テストの実施・回収など、先生方がどんどん意欲的に取り組んでいます。3年生はローマ字学習を先に行って、キーボードによるタイピングの練習を中心に、アルファベットの学習がまだである1・2年生は、これからカメラでいろんなものを撮影したり、絵描きアプリを使ったりしながらクロームブックに慣れる学習を行うこととなります。先日、県、市の教育委員会の学校訪問がありましたが、三原の先生たちのGIGAスクールへの対応、子どもたちの落ち着いた学習態度について、大絶賛でした。

『2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時には、今は存在していない職業に就くだろう。』と言われています（ニューヨーク市立大学教授キャシー・デビッドソン氏）。今は2021年、これから30年後の未来に活躍する子どもたち、「予測困難な時代を生き抜く」ためにどんな学びが必要か、これから私たち教員も、保護者のみなさんも共に考えていきましょう。

宮原のつぶやき

少し前にアニメで放送もされました漫画「宇宙兄弟」ってご存じですか？野茂選手がメジャーでノーヒットノーランを達成した日に生まれ、華々しく宇宙飛行士として活躍する弟「日々人（ヒビト）」に対して、ドーハの悲劇の日に生まれ、何をやっても不運に見舞われる兄「六太（ムッタ）」が宇宙飛行士を目指して成長する物語で、いろんな含蓄のあるセリフが大好きなのですが、その中でJAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙飛行士の試験で、もっとも必要とされる資質は何かということが出てきます。物語にも、天才的な頭脳をもった人や、リーダーシップを発揮し判断力に優れた人など様々な優秀な人が出てきますが、最後の最後に優先されたもの、それは「協調性」でした。宇宙船地球号に乗る我々にも、これから予測困難な時代を生き抜く子どもたちにも、一番必要な資質なのかもしれませんね。